

平成 30 年度 第 1 回安曇野市歯科口腔保健部会 会議概要

1	会議名	安曇野市歯科口腔保健部会
2	日時	平成 30 年 4 月 24 日 午後 7 時 30 分から午後 9 時 00 分まで
3	会場	本庁舎 306 会議室
4	出席者	佐野委員、堀内委員、飯島委員、寺島委員、家高委員、丸山委員、細萱委員、 仁科委員
	欠席者	山田委員
5	担当課出席者	高橋部長 介護保険課 中澤係長、酒井保健師、太田歯科衛生士 福祉課 高橋係長、健康推進課 古畑課長、中澤センター長、 臼山歯科衛生士、石川歯科衛生士、芝原
6	公開・非公開の別	公開
7	会議概要作成年月日	平成 30 年 4 月 25 日

協 議 事 項 等

1	会議の概要
	(1) 開会
	(2) 委員の委嘱
	(3) 会長あいさつ
	(4) 保健医療部長あいさつ
	(5) 自己紹介
	(6) 協議事項
	平成 29 年度歯科保健事業報告について
	平成 30 年度歯科保健事業計画について
	その他
	・障がい児者の相談窓口について
	(7) 閉会
	・次回は秋ごろの開催を予定
2	協議事項の概要
	平成 29 年度歯科保健事業について
	【主な意見】
	(委員)
	健康推進課：認定こども園・保育園・幼稚園歯科健康診断について
	多数のう歯を持つ者で年少児以降 10 本以上のう歯を持つ者がいるが、どの様に対応をしていくのか。
	(事務局)
	健診後受診勧奨の通知を出すことや、園に対し相談を行ったりしているが、なかなかうまくいかない。治療につながっている園児もいる。また園医から指示書をもらい、進行止めの薬を塗布している園児もいる。全ての園児には手が回っていないので今後の課題として考えたい。
	(委員)
	介護保険課：高齢者歯科健診の年齢別受診者数で、その他が 2 名いるがこれは何か。
	(事務局)
	1 人は健診に参加した配偶者、もう一人は対象者ではないが、情報を聞いて来られた方だった。
	(委員)
	認定こども園・保育園・幼稚園歯科健康診断、学校歯科健康診断について
	年中児からと小学校 3 年生からう歯が大幅に増加しているが、これはなぜか。また、ここまで細かいデータが出ているのだから、データを出すだけでなく、結果を分析して保健事業計画に反映していくべきではないか。

(事務局)

学童に関しては、永久歯が生え始める混合歯列期で、歯みがきが難しい時期であることが考えられる。更に、生えたての歯は歯質が弱くむし歯になりやすい時期なので、う歯が増加しているのではないかと考えられる。対策について今後検討していきたい。

(会長)

介護保険課：定期歯科受診数は歯科医院のことか。また、どれぐらいの期間を定期的としているか。

(事務局)

定期歯科受診数は歯科医院の受診数のことである。最低1年に1回を定期歯科受診にカウントしている。

平成30年度歯科保健事業計画について

【主な意見】

(委員)

健康推進課：特定健診時の歯科健診は今年、信州大学の歯科医師のみか。

(事務局)

信州大学の歯科医師が担当することになっている。

健康推進課：小規模保育施設の歯科健診は、事業計画をみると年2回とある。実際は年1回しか実施していないが、年2回は義務か推奨なのか。

(事務局)

子ども支援課に確認する。

(3)その他

障がい児者の相談窓口について

関係者に広く周知するためチラシを作製した。市役所や支援センターで住民に配布する他に、障がい者施設、養護学校などに配布する。

昨年12月に相談支援専門員に「障がい児者の歯科保健について」周知を行った。

歯科口腔保健シンポジウムについて (委員より)

6月9日(土)本庁舎にて歯科口腔保健シンポジウムを開催(歯科医師会主催)

口腔がん周知パンフレットについて (会長より)

前回の歯科口腔保健部会で口腔がんの認知が低いという意見が出たので、広く周知するためパンフレットを作製した。保健センターに掲示、情報を必要とする住民に配布してほしい。

高齢者のフレイル問題について (委員より)

高齢者は健康に関心があるが、65歳以前の健康の考え方をもっている。痩せていることがいいことと思う高齢者が多い。高齢者には年齢に合った指導方法があると思うので、担当する課に栄養士を配置してもらえないか。

(事務局)

即答はできないが、高齢者のフレイルは問題になっている。検討したい。

施設の状況について (委員より)

市の事業報告と比較して、数値の違いに愕然とした。施設入所前に歯が無くなったり、20代、30代で入所した時点ですでに口腔状態が良くない方が多い。まず歯科治療から始まる。

口腔内に食渣が残っていても不快と表現できない為、う歯や歯周病の原因となることがある。

通所の方などは歯みがき習慣がついてない人も多い。家族や介護者が本人の歯みがきで十分と思ってしまうことも原因の一つか。(委員)

統計では80歳で20本の歯を残している人は50%しかない。介護保険課のデータは驚異的なデータである。(委員)

施設の職員に、ケアがきちんとしていれば 70 歳でも歯が残ることを知ってもらいたい。(委員)